

## 1 学期始業式

校長 栃倉 和則

この春、校長として着任しました。よろしくお願ひいたします。初めて皆さんに話しかけるのに、こうして放送でお話をするのが、とても寂しい気持ちです。早く皆さんの顔を見ながら、直接話ができるようになることを願っています。

私は、長く水泳部の顧問をしていました。旧3学区にも勤務していたので、豊多摩高校の活躍はずっと見ていて、いつか、こういう学校で仕事がしたいと思っていました。

この度の異動にあたり周囲の人から言われました。「豊多摩高校、いい学校だね。場所は練馬区でしたか?」「いや違うんです。杉並区で・・・」「環七の近くですよ。陸橋がありますよね。」このあたりになると、さすがに鈍感な私も、多摩はたまでも玉、つまりボールの玉だと気づきます。豊という字にボールの玉。練馬区にある地名です。

実は私、多摩の出身です。私が子供の頃、住んでいたところは北多摩郡です。今は、郡としての多摩は西多摩郡を残すのみとなりましたが、当時は、北多摩郡、南多摩郡、西多摩郡と3つの多摩がついた郡があり、三多摩と言われていました。東多摩郡がないのは、きっと東側は23区だからだよ・・・などと友だちと話していました。

そんなことが気になって、今回すこしだけ調べてみましたら、実はあったんです、東多摩。明治時代の、郡区町村編成法（しくちょうそんでなく）によって、現在の杉並区と中野区にあたる地域が「東多摩郡」とされていたのです。明治11年のことです。その後、明治29年に東多摩郡と南豊島郡（現在の新宿区、渋谷区）とが合併して豊多摩郡となりました。豊島のと、豊かという字と多摩、豊多摩高校のとよたまです。Wikipediaによれば、豊多摩・・・「豊多摩高校などにその名を残す」とありました。東多摩郡は、豊多摩高校の歴史にも関わっていたのですね。

私、今も「たま」に住んでいます。たまはたまでも、「さいたま」なんですけどね。

4月1日に着任して、学校を歩きました。いくつかの部活動や学友会がもう活動を始めていました。昭島スタジアムにも出かけて、野球部の活躍ぶりも見てきました。やはり、高校は部活動が盛んでないといけませんね。折しもコロナ禍にあって、様々な局面で制約を受けることもあると思います。でも、きちんとした対策の元に一緒に乗り越えていきましょう。それが実現できる学校だと思っています。

松下幸之助は、「困難なことがあっても、長い人間の歴史を俯瞰してみれば、発展の一コマである。そうした見方ができるようになると、困難は困難でなくなり、打開・発展の道が

見えてくる。」と言っています。近い将来きっと、こうして皆マスクをしていたことも、アクリル板の仕切りのことも、きっと懐かしく思い出す日が来る。そう信じたいと思います。そしてその時、私たちは確実に発展の道を進んでいるのです。

広い校舎に迷ってしまいそうです。学校のあちらこちらに出没すると思います。気軽に声をかけてみてください。時間のあるとき、相談のあるときは校長室をお訪ねください。校長室のドアはできるだけ開けておきます。